職種：生花　　職務：生花

【概要】

祭壇や装飾・供花で使用する生花の仕入れ、保管、企画・デザイン、製作、設営・撤収などを行う仕事。

【仕事の内容】

生花の仕事は、葬祭サービス事業者自身が手掛ける場合と、外部の生花事業者に飾りつけを委託する場合とに分かれる。また、内製化する場合であっても、独立した職種となっているケースと、「施行業務」の担当者が兼務するケースとに分かれる。

具体的な仕事内容としては、まず、生花祭壇や装飾・供花で用いる花を選定して仕入計画を策定し、これに基づき品質・価格・納期等を考慮しながら最適な購入先を選定して仕入れを行う。仕入れた花は水揚げし、実際に使うまで適切に冷蔵保管する。その後、ご遺族や施主のニーズに沿って生花の企画・デザインを行い、生花祭壇や装飾・供花を製作して設営する。葬儀後の撤収の仕事も生花の仕事に含まれる。

生花祭壇はご遺族の想いが表現されるものであり、ご遺族や施主の意向を十分に反映させることが何よりも重要である。

【求められる経験・能力】

1. 生花の仕事は感性や専門性が求められる仕事であり、一定の専門スキルを身につけた人が就くケースもあるが、全くの未経験者が仕事を通じて習熟していくケースも多い。
2. 生花祭壇の企画・デザインは、一般的なフラワーアレンジメントの仕事とは異なる。何よりもご遺族や施主の想いを表現していくことが重要であり、与えられた情報から色遣いなどのイメージを膨らませ、施主のニーズに的確に応えていくことが求められる。
3. 花は生ものであり、仕入れや保管を誤ると大量の廃棄ロスが発生しかねない。このため、しっかりとした仕入計画を立て、最適のタイミングで購入し、確実に在庫管理を行うことが極めて重要になる。上位レベルの職階では、こうした一連の業務全体をマネジメントするスキルも求められる。
4. 生花の仕事は施行業務の担当者との連携プレーである。日頃から関係者としっかりとコミュニケーションをとり、チームプレーに徹することができることも重要な資質といえる。

【関連する資格・検定等】

* 葬祭ディレクター技能審査（１級、２級）〔葬祭ディレクター技能審査協会〕
* フラワー装飾技能検定（１級、２級、３級）〔厚生労働省　職業能力開発促進法〕

【厚生労働省編職業分類（小分類）との対応】

　２２４　デザイナー

４２５　葬儀師、火葬係